オンライン講義と受講生アンケート調査結果の概要

公益財団法人知床自然大学院大学設立財団

2019 年 9 月に開催した「知床ネイチャーキャンパス 2019」では、2 日間の事前オンライン講義と 3 日間の知床現地 実習を行った。ここでは Zoom を使ったオンライン講義の概要と、受講生アンケート結果を報告する。

オンライン講義概念図





受講生へ配信中の画面(スピーカービュー) パワーポイントの画面共有と講師



ホスト(事務局)の画面。講師パワーポ イントと右側に参加者・参加者管理



プログラム台とカメラ。 開始前や休憩中に切り替 えて表示した。

モニター用パソコン画面。参加状 況をチェック(ギャラリービュー。 休憩中のためカメラオフの参加者 が多い)。参加状況をモニター。



ホストパソコンからの 講義の様子。今回講義 は事務局から3講師、 全国から5講師が発信。

オンライン講義の流れ

①事務局より事前に URL (ID) を参加者(受講生・講師・TA)へ送付
②参加者は URL をクリック(初回はアプリが自動ダウンロード)し、ミーティング(仮想の講義室)に参加。 ※タブレット、スマホの場合は事前にアプリをダウンロード、ID入力。(準備終了)
③ホスト(進行役)が参加者確認と講師紹介
④講義開始 講師の端末はマイク・カメラ共に ON。画像共有でパワーポイント使用。 受講生の端末はマイク OFF、カメラ ON。
⑤質疑:受講生はマイクを ON にして質問。
⑥休憩中:受講生はマイク OFF、カメラは ON/OFF 自由。ホストはカメラプ切替え(プログラム・休憩表示等)
=トラブルの回避 = ①ハウリング防止(近くで複数受講→1台以外オーディオ遮断を指示)

②雑音の防止(参加者マイクの OFF 指示) ※ホストから直接操作可能。講義中はチャットで指示も可能。





「しやすい」「変わらない」が9割。しやすい理由 は「パワポが見やすく声も聞きやすい」等。しに くい理由は「同じ教室を共有している感が薄い。



「しやすい」理由は「講師との距離が感じずらい」。 「しにくい」理由は「タイミングがわからない」、「全 面に顔が映るのが恥ずかしい」、「皆を待たせずに 個別に質問したかった」等。 アンケート・オンライン講義に関する自由記述

学生	物理的距離が離れていても一緒に受講できるのがいい。
学生	使い方が分からず、最初の方が聞けなかった。録画のデータ配信は、やはり著作権の関係などあるのでしょ うか?期間限定でよいので、本講義のあとに自分で戻したりしながら聞けるようにしてほしいです。
学生	ネット環境が上手く整わず少し戸惑ったが、内容は密度濃く面白かった。現場で「ああ、そういえばそうい うこと言ってたな」と感じられたので、より記憶に残った気がする。
学生	実際に講義を受けているようでした。
学生	どれも単語は聞いたことはあるが、説明できるほどの知識・理解ではなかったため、今回の講義で一歩踏み 込まないと見えてこない課題や解決策を知り有意義な学びとなりました。
学生	録画したものが決まった時間にしか見ることができず、受講することができませんでした。
学生	落ち着いた環境で講義できてよかった。
学生	これまでに受講したことがないので比較はできないけれど、思っていた以上にやりやすかった。講義の始ま りも、機械さえあればできるので簡単。
学生	事前に先生方の雰囲気や受講生の顔が分かってよかったです。
学生	別のモニタで地図を開きながら受講できたので便利だった。
学生	練習があったので、とまどいなく参加できた。事前に知識を学べることで、現地での実習が有意義になると 思います。
学生	ミュートを2人同時に切ると、反響して聞きにくかった。話し方によって聞きにくいところがあった。最 後、皆でバイバイと手を振れたのが楽しかった。良かった。今回自分は受講できませんでしたが、再オンラ イン講義は見逃した。上手く聞けなかった人に対して良い方法だと感じた。
学生	ー般の講義よりもパワポが見やすかったり、声が聞きやすかったので、理解しやすく感じました。しかし背 景や雑音が気になることから、受講する場所に迷いました。
社会人	自宅で作業しながらも(一部)受けることができ、お陰で現地へ出向く時間を多くいただけてよかった。 Zoomは仕事仲間やプライベートでも使いたいと思います。

オンライン講義日程

	時間帯	プログラム	講師
	13:30~14 : 00	開講挨拶とオリエンテーション	(主催者)
	14:00 ~ 14:50	講義1 知床の自然環境と 開拓・保護の歴史	中川 元
9月7日 (土)	15:00 ~ 15:50	講義2 森林再生 一知床100㎡運動の取り組み一	石川幸男
	16:00 ~ 16:50	講義3 知床100㎡運動の歩み と課題	村田良介
	17:00 ~ 17:50	講義4 河川生態系の復元	卜部浩一
	13:30 ~ 14:20	講義5 ヒグマと人をめぐる 現状と課題	石名坂豪
	14∶30 ~ 15∶20	講義6 野生動物と法制度	高橋満彦
9月8日 (日)	15:30 ~ 16 : 20	講義7 野生動物と人の共存 一観光客・住民との距離	愛甲哲也
	16:30 ~ 17:20	講義8 バックキャスティング でいこう 知床の未来のデザイン	敷田麻実
	17:20 ~ 17:40	オリエンテーション (現地実習について)	(主催者)

知床ネイチャーキャンパス 2019 について

テーマ:現場で学ぼう!知床の課題にチャレンジ 講義(オンライン)2019年9月7~8日 現地実習・演習 2019年9月11~13日

場所:北海道斜里町ウトロ、知床世界遺産地域 参加者 24 名(学生 20 名、大学院生 2 名、社会人 2 名 講師 8 名、TA2 名、ほか地元実習指導講師

講師

愛甲哲也	北海道大学大学院農学研究院准教授
石川幸男	弘前大学白神自然環境研究所教授
卜部浩一	北海道さけます内水面水産試験場
敷田麻実	北陸先端科学技術大学院大学教授
高橋満彦	富山大学人間発達科学部教授
村田良介	公益財団法人知床財団理事長
石名坂豪	公益財団法人知床財団主任研究員
野別貴博	公益財団法人知床財団主任研究員
中川 元	知床自然大学院大学設立財団